

Business Report

株主の皆様へ

第78期 報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日



トップメッセージ

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は当社事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第78期報告書をお届けするにあたり、まず、この度の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げるとともに、罹患された方々の一日も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。また、感染拡大防止に向けて最前線で日夜奮闘されている医療関係の皆様には心からの敬意を表します。

さて、このほど第78期の決算がまとまりましたので、ここに2019年4月1日から2020年3月31日までの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

《連結業績のご報告》

当連結会計年度の当社グループを取り巻く経済環境は、わが国経済は政府や日本銀行の各種政策の効果により景気は緩やかな回復基調で推移してはいましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にあります。アジア地域につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、中国では経済活動の大幅な縮小が生じており、足下で景気は減速しております。また、その他アジア地域については、経済活動が抑制されており、景気が下押しされております。

印刷インキの需要先であります印刷業界におきましては、先進国市場ではIT化の進展により紙媒体需要の減少が継続しており、出版印刷は依然として減少傾向にあります。商業印刷は横這いで推移しております。パッケージ印刷については全体的に堅調に推移しており、環境対応に関連する需要の増加は続いております。



代表取締役社長

ますだ よしかつ
増田 至克

特殊UVインキに関連する液晶ディスプレイ市場におきましては、パネルの数量的な伸長はみられたものの、需要を超える過剰供給が市場価格の大幅な低下を引き起こし、関連材料に対しても価格重視の要求が一段と強まりました。

このような経営環境の中で、当社の経営理念でありますT&K(Technology and Kindness=技術と真心)の精神に則り、ユーザーニーズに耳を傾け、ユーザーの真に役立つ製品の開発・供給に注力し、よりきめ細かいサービスに努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、平版インキは紙媒体のデジタルシフト化により印刷市場の縮小が進み、また特殊UVインキは他社との競争が激化し販売が減少したことにより、482億17百万円(前年同期比2.9%減)となりました。利益面におきましては、販売費及び一般管理費が減少しましたが、中国の環境規制強化による化学品の供給量減少等の影響による原材料価格の高止まりにより、営業利益は5億46百万円(前年同期比48.3%増)となりました。経常利益は、持分法による投資利益6億95百万円を計上したことにより、12億93百万円(前年同期比18.1%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、関係会社株式売却益67百万円、固定資産除却損2百万円、減損損失8億31百万円、法人税等3億49百万円を計上したことにより、1億58百万円(前年同期比74.8%減)となりました。

《期末配当金》

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、配当につきましては長期的・安定的な配当を維持し、業績に応じた利益還元をしていくことを基本方針とし、連結配当性向30%以上を実施していく予定であります。

第78期の期末配当につきましては、1株当たり17円とさせていただきます。当期の配当としては、2019年12月に実施した中間配当金17円を含め、1株当たり34円となります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

決算ハイライト

売上高

482億17百万円
前年同期比 2.9%減

営業利益

5億46百万円
前年同期比 48.3%増

経常利益

12億93百万円
前年同期比 18.1%増

親会社株主に帰属する当期純利益

1億58百万円
前年同期比 74.8%減

Topics 1 エコプロ2019に出展いたしました。

2019年12月に東京ビッグサイトで開催されたエコプロ2019に出展いたしました。

エコプロはアジアを代表する環境・エネルギーの総合展示会です。エコプロ2019のテーマである「持続可能な社会の実現に向けて」に合わせて、当社ブースでは、当社のSDGsへの取り組みのほか、バイオマスインキ、ライスインキ、水性フレキシインキ、テナシス等の環境対応製品を展示し、PRいたしました。

印刷業界だけでなく環境への関心が高い様々な企業が多数来訪され、当社の環境への取り組みを広く紹介することができた展示となりました。



SDGs	取り組み
1	経済成長を通じて、高品質な暮らしを切り拓く環境技術を開発しています。
2	2025年3月までの期間限定で、バイオマスインキを100%にすることで環境負荷の低減がお客様に還元されています。
3	印刷業界、印刷設備、印刷に携わる人々の健康と安全を確保し、環境づくりを推進しています。
4	環境対応インキへの製品開発、普及促進により、業界全体の環境負荷低減に貢献しています。
5	印刷業界の発展に向けて、経営改革を進め、成長を続けています。
6	地球温暖化対策として、省エネ設備の導入や環境負荷低減に取り組んでいます。
7	環境負荷低減の取り組みとして、再生可能エネルギーの活用を進めています。
8	印刷業界の発展に向けて、業界全体の成長に貢献する製品を開発しています。
9	印刷業界の発展に向けて、業界全体の成長に貢献する製品を開発しています。
10	印刷業界の発展に向けて、業界全体の成長に貢献する製品を開発しています。



(2019年11月26日ホームページ掲載)

Topics 2 株主優待制度を変更いたしました。

1. 株主優待制度の変更の理由

この度、当社株式への投資の魅力をより一層高め、中長期的に保有していただける株主様の拡大を図ることを目的として、現行の株主優待制度を変更し、新たな制度としてポイント制を導入することといたしました。これは、様々な優待品を選択できることから、株主様の多様なニーズにお応えし、利便性や多様性の向上を目指したものです。

2. 優待内容

株主の皆様が保有する株式数及び保有期間に応じて、株主優待ポイントを下記のとおり贈呈いたします。

保有株式数/保有年数	3年未満	3年以上
300~499株	2,000ポイント	3,000ポイント
500~999株	5,000ポイント	6,000ポイント
1,000株以上	8,000ポイント	10,000ポイント

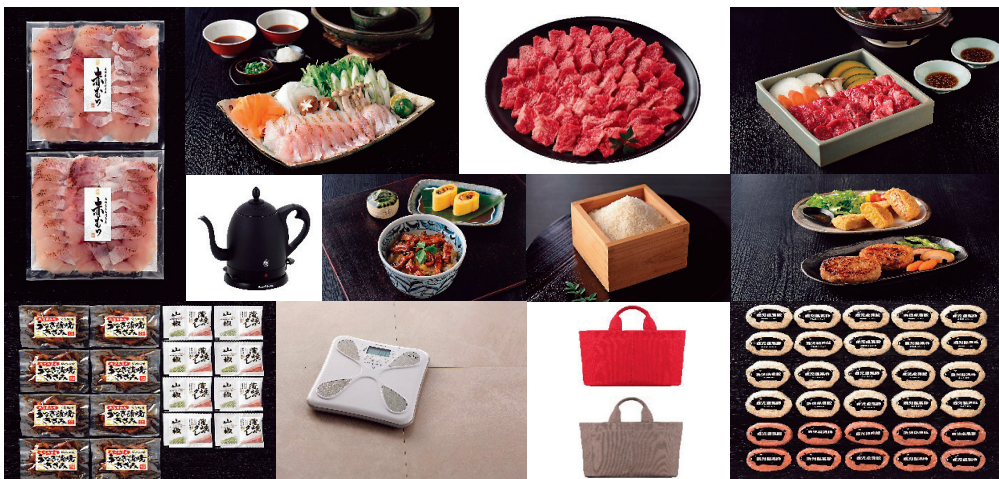
3. 対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載又は記録された3単元（300株）以上保有の株主様を対象といたします。

4. 株主優待ポイントの繰越について

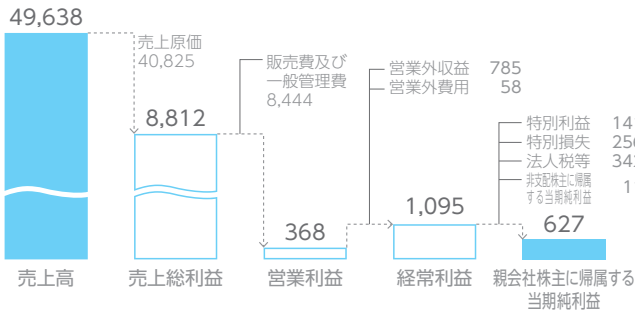
株主優待ポイントは最大3年間有効で、2回まで繰り越すことができます。株主優待ポイントを繰り越す場合、3月31日時点の当社株主名簿に同一の株主番号で記載されていることが条件になります。

詳しくは、2020年2月26日に弊社ホームページのIR情報にて発表しております「株主優待制度の変更に関するお知らせ」をご参照願います。



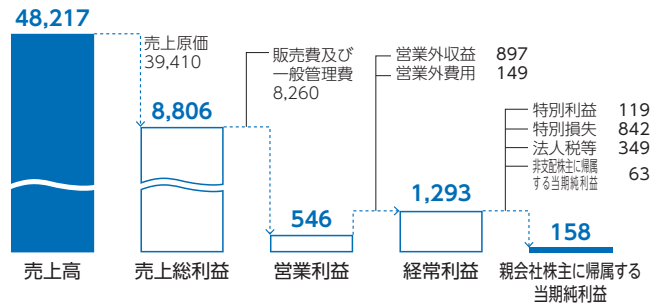
連結財務諸表

▶ 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



第77期

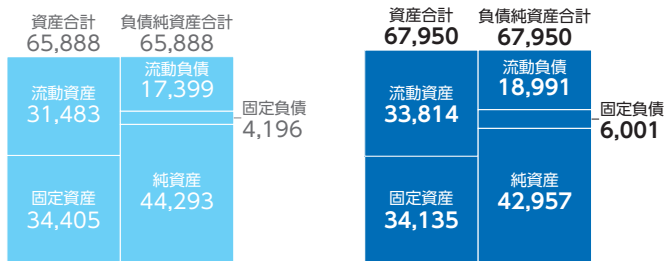
2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日



第78期

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

▶ 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



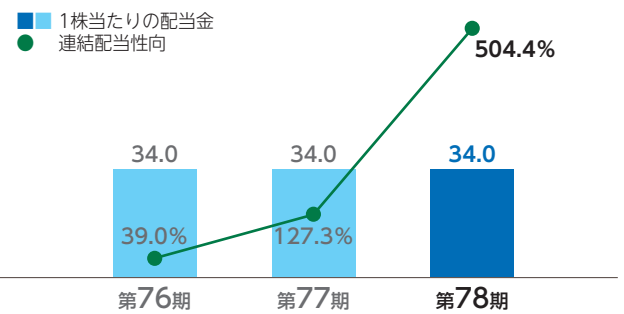
第77期

2019年3月31日現在

第78期

2020年3月31日現在

▶ 1株当たりの配当金・連結配当性向 (単位：円)



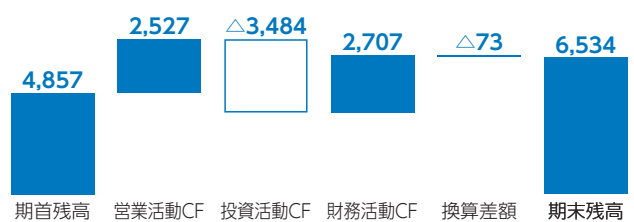
▶ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

※ CF=キャッシュ・フロー



第77期

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日



第78期

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

▶ 第78期 財政状態の説明

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて20億61百万円増加し、679億50百万円となりました。これは、のれんが1億63百万円、無形固定資産（その他）が7億35百万円、投資有価証券が6億25百万円減少したものの、現金及び預金が15億67百万円、受取手形及び売掛金が1億55百万円、商品及び製品が3億32百万円、原材料及び貯蔵品が1億16百万円、有形固定資産が13億36百万円増加したことが主な要因であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて33億97百万円増加し、249億93百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が8億51百万円、未払金が7億71百万円減少したものの、電子記録債務が12億48百万円、短期借入金が14億86百万円、1年内返済予定の長期借入金が4億27百万円、長期借入金が18億55百万円増加したことが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて13億35百万円減少し、429億57百万円となりました。これは、利益剰余金が6億40百万円、その他有価証券評価差額金が2億50百万円、為替換算調整勘定が4億51百万円減少したことが主な要因であります。

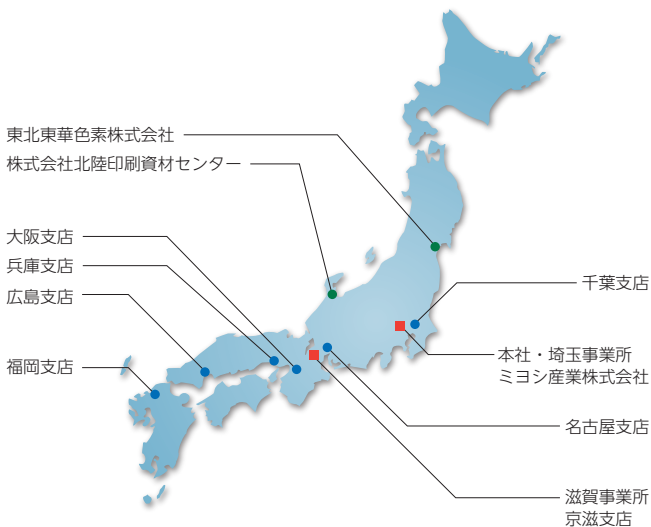
会社の概要

商号 株式会社T&K TOKA
T&K TOKA CO., LTD. (英文名)
創業 1947年(昭和22年) 3月25日
設立 1949年(昭和24年) 12月23日
本社所在地 埼玉県入間郡三芳町大字竹間沢283番地1
代表者 代表取締役社長 増田 至克
資本金 20億80百万円
事業内容 各種印刷用インキ及び印刷用・塗料用・接着剤用
合成樹脂の製造・販売、印刷関連諸資機材の販売、
輸出入貿易
従業員数 739名(47名)
注：パート及び嘱託社員は()内に平均人員を外数
で記載

役員一覧 (2020年6月19日現在)

代表取締役社長	増	田	至	克
常務取締役	吉	村		彰
常務取締役	北	條		実
取締役	栗	本	隆	一
取締役	中	間	和	彦
社外取締役	磯	貝	厚	太
社外取締役(監査等委員)	木	田	卓	寿
社外取締役(監査等委員)	大	高	健	司
社外取締役(監査等委員)	野	口	郷	司
社外取締役(監査等委員)	英		公	一

事業拠点



海外拠点(子会社) | 株式会社チマニートオカ：インドネシア共和国
東華油墨国際(香港)有限公司：中華人民共和国香港
韓国特殊インキ工業株式会社：大韓民国
トオカ(タイランド)株式会社：タイ王国
Royal Dutch Printing Ink Factories Van Son B.V.：オランダ王国
Van Son Holland Ink Corporation of America：アメリカ合衆国
浙江迪克東華精細化工有限公司：中華人民共和国
T&K TOKA U.S.A., INC.：アメリカ合衆国
Midwest Ink Co.：アメリカ合衆国

株式の状況

発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式総数 25,055,440株
株主数 8,163名

株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで
定時株主総会 毎年決算期日の翌日から3ヵ月以内
剰余金配当基準日 3月31日及び中間配当を行うときは9月30日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の 証券会社等に なります。	みずほ証券株式会社 本店及び全 国各支店 プラネットブース(株式会社みずほ 銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱で きませんのでご了承ください。
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行株式会社(※)及び株式会社みずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の [特別口座の場合]の郵便物送付 先・電話お問い合わせ先・各種 手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買 増以外の株式売買はできません。証券会社 等に口座を開設し、株式の振替手続を行 っていただく必要があります。

公告方法 当社の公告方法は、電子公告としております。
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告をすることができないときは、日本
経済新聞に掲載しております。
当社の公告掲載URLは次のとおりであります。
<https://www.tk-toka.co.jp/ir/kokoku/>

ホームページのご案内

当社ホームページは、IR情報や技術情報、会社情報等充実した内容となっております。
どうぞご覧ください。

<https://www.tk-toka.co.jp/>

T&K 検索